平成 19 年（2007 年）7 月 2 日
交通対策・中野駅周辺まちづくり特別委員会
都市整備部北部地域まちづくり担当

西武新宿線野方･都立家政･鷺ノ宮駅周辺まちづくり構想（たたき台）の策定について

１．目的

○　区内北部地域を東西に走る西武新宿線のほとんどの踏切で長時間遮断による交通渋滞、市街地の南北分断のため区民生活や都市活動に支障が生じている。

○　踏切の抜本的解決策である連続立体交差化事業を行うためには、道路と鉄道の立体化と一体となった沿線まちづくりが不可欠であるため、まちづくり計画を策定する。

○　本構想(たたき台)は 18 年度策定した「西武新宿線新井薬師前・沼袋駅周辺まちづくり構想(たたき台)」に引き続き、区が過年度調査に基づき策定する、連続立体交差事業にあわせた沿線まちづくりを地元の方々と検討を進める素材としてまちづくりの方向性を示したものである。

２．対象区域

西武新宿線野方・都立家政・鷺ノ宮各駅周辺

３．内容

（１）現状と課題
（２）主な経緯等
（３）整備課題、整備方針
（４）まちづくり構想図（たたき台）

４．今後の予定

○　8 月下旬　西武新宿線野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺まちづくり構想(たたき台)について区民説明会

西武新宿線連続立体交差化と沿線まちづくりについて

現状と課題

（踏み切り問題）

○　区内北部を東西約 5km にわたり横断する西武新宿線は、２０箇所の踏み切りがあり、そのほとんどがピーク時に 40 分以上踏切が遮断しているボトルネック踏切である。

○　朝夕のラッシュには踏切遮断のため、中野通りをはじめ区内の主要道路などで慢性的な交通渋滞が生じており、地域の利便性、安全性及び市街地の南北分断などが深刻な問題となっている。

（まちづくりの課題）

○　駅周辺では、駅前広場やそれにつながる道路が不足しており、バスやタクシー等の公共交通による駅へのアクセスやサービスなどが、十分に確保されない。

○　駅付近の商店街通りは、幅員が狭く歩道等もないため、自動車と歩行者等の動線とが重なり、買い物客等の安全が脅かされている。

○　周辺には木造密集市街地が広がっており、そのほとんどが緊急車両の通行が難しい狭あいな道路であることから、住環境や防災上課題となっている。

主な経緯等

○　**昭和６０年代　西武新宿線の踏み切りにおける慢性的な交通渋滞や地域の分断などが深刻な問題となった。**

○ **平成５年４月　西武新宿線の複々線化計画の都市計画決定**

・輸送力の増強を図るため、西武新宿駅から上石神井駅まで地下線を建設し、複々線化を行う計画を都市計画決定

・その後、西武鉄道㈱は、乗降客数減少を理由に、複々線化事業の延期を発表

○ **平成９年７月　中野通りのアンダーパス案の検討**

東京都・中野区・西武鉄道（株）で構成される検討委員会において、中野通りのアンダーパス案が好ましいとの結論が出され、議会・地元住民などへの説明を行ったものの、多くの反対意見が出された

○**平成１４年１０月　西武新宿線検討会の報告**

東京都及び西武鉄道（株）による検討会が設置され、中野通りを中心に、鉄道と道路の立体交差化の検討を行い、４案が提示された

○ **平成１５年５月　「西武新宿線沿線まちづくり及び踏切対策検討会」の設置**

区は、この４案の提示を受け、東京都・西武鉄道（株）の三者による「西武新宿線沿線まちづくり及び踏切対策検討会」を設置

○ **平成１６年１月　西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の結成**

・区内全線地下化の実現を促進することを目的として、区民・区議会・中野区の３者により結成

・ 同同盟は、「中野区内の西武新宿線踏切問題の早期解消」について、同年２月都知事に、４月に国土交通大臣あてに要望活動を行う。

○ **平成１６年１月　沿線まちづくりを考える地元勉強会が発足**

・ 西武新宿線駅周辺の沿線まちづくりについて、広範な意見交換を行うため、町会・商店会などで構成された地元勉強会をスタート

○ **平成１６年６月　東京都が「踏切対策基本方針」を策定**

「踏切対策基本方針」において、鉄道立体化の検討対象区間（２０区間）として、中井～野方駅間、野方～井荻駅間の２区間が位置づけられた

○ **平成１８年１月　中野区が「新しい中野をつくる１０か年計画」を策定**

この計画では、「西武新宿線沿線のまちづくりと連続立体交差化によって、分断のない安全で活力のあるまちをつくります」としている

西武新宿線野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺まちづくり構想（たたき台）

目　的

○区内北部を東西に横断する西武新宿線は、20箇所の踏切があり、朝夕のラッシュ時には踏切遮断のため、慢性的な交通渋滞が生じており、地域の利便性、安全性及び市街地の南北分断などが、大きな課題となっています。

○これらの問題を抜本的に解決するためには、鉄道と道路の連続立体交差化を早期に実現していくことが必要であり、そのためには、駅前広場や道路などの都市基盤やオープンスペース等が不足している沿線のまちづくりを積極的に進めることが重要です。

○このまちづくり構想は、連続立体交差事業にあわせ沿線まちづくりを地元の方々と検討を進めるための素材として、まちづくりの方向を示した「たたき台」です。

整 備 課 題

1. 土地利用等
   ○駅付近にふさわしい機能の集積や土地の有効活用
   ○商業地、商店街の環境整備
   ○道路整備に併せた沿道型土地利用への転換
   ○密集市街地での共同化・協調化の促進
2. 道路・交通
   ○踏切での交通渋滞の解消
   ○都市計画道路や駅前商店街通りの整備
   ○駅前広場とアクセス道路の整備
   ○双方向のバスルートの確保
3. 防災
   ○密集市街地の改善
   ○道路整備に併せた沿道建物の不燃化促進
   ○広域避難場所へのアクセス路の確保
   ○主要生活道路・区画道路等の整備
4. 生活環境
   ○密集している市街地の解消
   ○身近な公園の整備
   ○狭あい道路の解消
   ○公共施設、民地での緑化の推進
5. 都市景観
   ○駅前及び商店街の景観向上

整 備 方 針

1. まちの骨格である道路等都市基盤の整備促進
   ○まちの骨格を形成する道路等を整備し、円滑な交通及び防災機能の向上
   ○駅前広場や駅へのアクセス道路を整備し、交通結節機能の強化
   ○鉄道敷の活用により防災軸・歩行者軸の形成

2. 「生活の心」「交流の心」である駅周辺の整備
   ○駅周辺を地域の拠点として育て、周辺地域の活性化を促進
   ○駅周辺にふさわしい商業・業務等の機能の集積
   ○安心快適な歩行者空間を備えた駅前商店街通りの整備
   ○駅前広場の整備と併せた駅周辺の再開発の推進

3. 安全で快適に住み続けられるまちの実現
   ○駅やその周辺道路のバリアフリー化で安全に歩けるまちの形成
   ○建物の不燃化・耐震改修などによる災害に強いまちの形成
   ○駅周辺や商店街の良好なまち並み景観の形成
   ○妙正寺川に沿って存在するみどりや避難路のネットワークの形成

西武新宿線野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺まちづくり構想図（たたき台）

交通結節点ゾーン
・駅前広場の整備※
・駅周辺の再開発の推進
・駅舎の整備
・駐輪場の整備
・交流広場の整備

交通結節点ゾーン
・駅へのアクセス道路の整備
・交流広場の整備
・駐輪場の整備

防災軸・歩行者軸

住環境保存ゾーン
・市街地環境の改善
・商業軸の歩行者空間の確保
・狭あい道路の解消

交通結節点ゾーン
・駅前広場の整備※
・駅へのアクセス道路の整備※
・駅周辺の再開発の推進
・駅舎の整備
・駐輪場の整備
・交流広場の整備

住環境保存ゾーン
・市街地環境の改善
・商業軸の歩行者空間の確保
・狭あい道路の解消

住環境改善ゾーン
・密集市街地の整備・改善
・建物の不燃化・耐震改修
・狭あい道路の解消

都市計画道路 補215号線の整備
都市計画道路 補133号線の整備
都市計画道路 補227号線の整備
新青梅街道（補76）
見晴田通り（補74）
中杉通り
大和町中央通り
環七通り
妙正寺川
鷺ノ宮駅
都立家政駅
野方駅
鷺宮小学校
第八中学校
鷺宮運動広場
鷺宮西住宅
福蔵院
西中野小学校
若宮公園
かせい公園
北原小学校
かしの木公園
鷺宮高校
若宮小学校
野方5丁目地区
鷺宮都営住宅
第四中学校
大和公園
西大和公園
大和小学校
蓮華寺
啓明小学校
啓明公園

凡　例

- 主要な幹線道路
- 都市計画道路の整備
- 防災軸・歩行者軸の整備
- 水と緑のネットワーク化
- 商業軸
- 生活幹線道路
- 区境
- 一団地の住宅施設
- みどりの軸
- 骨格防災軸
- 延焼遮断帯
- 交通結節点ゾーン
- 駅前広場の整備
- 住環境改善ゾーン
- 住環境保存ゾーン
- 地域のオープンスペース
- 広域避難場所
- 地区計画
- みどりの補助軸
- 主要延焼遮断帯

※赤字については整備が特に急がれている計画